※令和４年度以降入学生用

学校番号	220

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	歴史総合（実教出版）						
副教材等	歴史総合　演習ノート（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合は今まで日本史と世界史に分けられていた歴史を総合的に学ぶ科目です。日本と世界のつながりを理解し、日本と世界を常に比較しながら学ぶという視点が重要になります。近現代の目まぐるしい歴史の変化を理解し、グローバル化する国際社会に生きる人間としての基礎的な力を身に付けてください。

２　学習の到達目標

（１）　近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（２）　近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

（３）　近現代の歴史の変化に関わる諸事象についてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本および世界の歴史の変化を理解するとともに、歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。	歴史に関わる事象の意味や意義を多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題の解決に向けて構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近代化と私たち	・近代化への胎動 ・欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 ・欧米諸国と日本の国民国家形成 ・帝国主義の時代	a：江戸時代の日本や産業革命後の世界の歴史の変化を理解するとともに、歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。 b：江戸時代の日本や産業革命後の世界の歴史の変化を多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題の解決に向けて構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。 c：江戸時代の日本や産業革命後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査	提出ノート ワークシート	提出ノート ワークシート 観察
2学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・第一次世界大戦と大衆社会 ・経済危機と第二次世界大戦	a：二度の世界大戦とその影響について理解するとともに、歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。 b：二度の世界大戦とその影響について多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題の解決に向けて構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。 c：二度の世界大戦とその影響に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査	提出ノート ワークシート	提出ノート ワークシート 観察

※令和４年度以降入学生用

３ 学 期	グローバル化と私たち	・冷戦と脱植民地化 ・多極化する世界 ・グローバル化と現代世界	a: グローバル化していく現代世界について理解するとともに、歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。 b: グローバル化していく現代世界について多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題の解決に向けて構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。 c: グローバル化していく現代世界に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査	提出ノート ワークシート	提出ノート ワークシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度